

2026年3月19日



横浜高速鉄道株式会社

みなとみらい線における輸送障害について（訂正とお詫び）

3月13日（金）12時20分頃に発生したみなとみらい線の停電に伴う輸送障害により、多くのお客さまにご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。

また、輸送障害の発生原因につきましては、3月13日時点の発表では東急東横線内での架線の停電としておりましたが、その後の調査により、みなとみらい線内での落下物による架線の停電と判明いたしましたので、訂正しお詫び申し上げます。

本事象の概況につきましては、以下のとおりお知らせいたします。

【3月13日（金）に発生した輸送障害の概況】

1. 発生日時 2026年3月13日（金）12時20分頃
 2. 場 所 東横線大倉山駅～みなとみらい線みなとみらい駅間（停電区間）
 3. 運転支障 7時間23分
 4. 影響人員 86,900人
 5. 時 系 列
 - 3月13日（金）12時20分 電車線停電が発生（みなとみらい線内駅間停車列車なし）
 - 14時12分 安全確認完了により電車線復電
 - 19時12分 東横線（反町駅～横浜駅間）下り線に停車中の列車が菊名駅に向けて出発
 - 19時45分 みなとみらい線（横浜駅～元町・中華街駅間）で運転を再開
 - 21時50分 東横線との直通運転を再開
 - 東横線（反町駅～横浜駅間）の点検実施
 - 3月14日（土） 東横線（反町駅～横浜駅間）の点検実施
 - 3月15日（日） 東横線（反町駅～横浜駅間）の点検実施
 - 3月16日（月） みなとみらい線（横浜駅～みなとみらい駅間）の点検実施
- 横浜駅～新高島駅間軌道脇に導水用水切り材（落下物）を発見、落下場所近傍の電車線を確認したところ、一部に接触痕を確認

【落下物事象の概況】

1. 判明日時 2026年3月16日（月）26時30分頃
2. 判明場所 みなとみらい線横浜駅～新高島駅間 0k296m 付近 下り線（資料1参照）
3. 落 下 物 トンネル天井に設置している導水用の水切り材（資料2参照）
（ステンレス製鋼材 サイズ：幅約50mm×長さ約2,000mm、重量：1.83kg）

4. 原因

(1) 落下事象の発生原因

当該水切り材の固定ボルトが腐食の進行により破断したため。

(2) 3月13日（金）の停電事象の発生原因

当該水切り材が垂下して電車線に触れ、変電所の保護装置が動作したため。

5. 対策

(1) 暫定対策（当面の対応）

①当該水切り材付近の添架物の緊急点検

3月17日（火）に触手にて実施し、直ちに落下する恐れは確認できなかったものの、一部浮きがあった添架物を撤去し、これ以外は異常がないことを確認しました。

②当社線全線の類似添架物の緊急点検

3月17日（火）外観目視にて実施し、異常がないことを確認しました。

(2) 恒久対策

原因究明を進め、再発防止のための改善策を検討中。

6. 直近の検査

2025年11月に実施した省令技術基準に基づく通常全般検査(2年周期)では、異常ありませんでした。

以上

<平面図>



<縦断図>

発生場所 横浜駅起点0k296m付近



